

通信小海

牧師 荒^{あらし} 実^{まこと}

「くびきを共に負ってくださいるお方」

イエス様は、私たちに無理やり重い荷を負わせるお方ではありません。私たちは、自分の負うべき荷とみんなを追うべき荷を見分ける必要があります。

ある人は、自分の負うべき荷を人に負わせ、みんなで負うべき荷も負わず、逆に自分の負うべき荷と人の負うべき荷を両方負わされている人がいるという現実があります。それに加えて、人間の罪の結果、自分自身で引き寄せるさまざまな苦勞や痛みをも背負っているのです。これでは潰れてしまうでしょう。そこで、イエス様は、言われました。「すべて、疲れた人、重荷を負っ

「今月のみことば」

「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

マタイ11:30

ている人は、わたし（イエス）のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

イエス様の招きに従ってイエス様のもとへ行くと、イエス様が私たちの罪を取り除いてくださいます。そして、イエス様のもとで十分休息した後、私たちは、新しい荷を負うのです。その荷とは、キリスト者として地の塩、世の光となることです。

地の塩とは、正義を貫き不正を防止する者になることです。ちょうど塩が腐敗を防ぐ役割を果たすように、世の腐敗を止めることが求められるのです。世の光とは、光であられるイエス様のご性質に倣い、人々を心から愛し、輝いて生きることです。これは自分だけの力で実行できることではありません。イエス様は、これらの荷を共に負

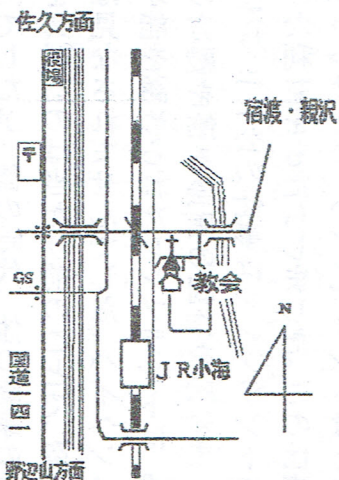
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二〇二 電話 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

教会 HP (小海キリスト教会で検索) http://church.ne.jp/koumi_christ/ ぜひご覧ください！！

つてくださるお方なのです

くびきとは、車を引かせるために、動物につなぐものです。重い白を引かせるときには牛を二頭並べてくびきで繋ぎ、二頭のうち力の強い方に負担がかかる仕組みになっています。つまり、イエス様と私たちとが共に荷を負うならば、イエス様にお力があるので、負担はイエス様にかかることになるのです。イエス様は言われました。「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い。」

イエス様といつも一緒なら、どんな苦難も乗り越えられます。死を打ち破って復活されたイエス様に繋がっている限り、何も恐れるものはありません。自分ひとりで問題を背負うことやめ、イエス様のもとに行きましよう。

イエス様は言われました。「わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。」

連載

信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 【著】

第三章 レンブラント

〈絶頂期後に信仰に目覚めた画家〉

②



アムステルダム工房で修業後、友人リーフェンスと共にライデンで工房を開きました。若千十九歳でのことです。それは、レンブラントが、神から生まれながらの素晴らしい賜物を与えられていたことの証明です。工房を開いたレンブラントのところに、どのようにして仕事が舞い込んできたのでしょうか。

オラニエ公フレデリック・ヘンドリックは、スペインから独立したオランダ共和国の総督の地位に着いた重要人物でありました。彼の個人秘書がコンスタンティン・ハイヘンスでした。

ハイヘンスはヘンドリックの指示を受けて、彼のための官殿を建てることになり、一切の権限を与えられました。

当時の最大の画家はルーベンスでした。しかし、彼はオランダの旧宗主国スペインの外交官の性格を帯びていましたので、頼むわけにはいきませんでした。その時、頭角を現しつつあったのがレンブラントだったのです。レンブラントが熱心に模写したのはルーベンスの絵画でしたが、彼の時代、他の画家の作品を真似るのは当たり前前で、盗用とは見なされませんでした。ハイヘンスに才能を認められたレンブラントは、総督の官殿を飾る絵画の制作を始めました。オラニエ公の仕事はレンブラントに様々な利益をもたらしました。この仕事ができっかけとなり、レンブラントはその時代の最高画家の一人として呼ばれ、彼の作品は有力な人々の注意を引くようになり、そればかりか彼の絵画がイギリス国王の手に渡って、外国まで名声が広がることにもなったのです。

〈続く〉

ニチニチソウ

日日草・日々想



く代われない涙

子どもは親の所有物ではないし、親と子は別人格であるということ踏まえつつも、やはり親と子の情緒的な繋がり・絆というのは、特別なものがあるものですね。親であれば誰しも、我が子が幸せであり、周りの人の喜びや称賛に値すれば嬉しいし、逆に試験や苦難の中に置かれたり、人からの非難や攻撃の対象となるようなことがあれば切ないというのは、ごく自然な感情であると思います。

子育てをしていく中で、他者の経験を共に喜んだり悲しんだりすることとはまた違った心の動揺があることを経験するようになりました。

感動や喜びを分かち合えるような幸せな時もあれば、出来ることなら代わってあげたいと願うのに、現実にはそう出来ない苦しさを味わうような時もあります。悲しみや不安で子どもの小さな心が震えている時、親であるがゆえに堪えきれずに一緒に涙を流した経験をお持ちの方も少なくないと思います。

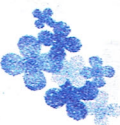
子どもが成長するにつれて「代われない涙」は増えていくのでしよう。子どもの抱える悩みや向き合う試験は、親の手の届かないところであり、歳が増すごとに、深刻さや複雑さも増していくのかもしれないかもしれません。何とかして助けてあげたい、守ってあげたいと出来る努力をしてみても、限界はあります。

親の力ではどうすることも出来ないことと向き合う時、「委ねる」ということを学んでいくのだと思わされます。それは、投げやりには本人に任せるとか諦めるということではなく、全てをご存知で、全てを動かして下さる天の父なる神様に、あらゆる現実の状況や心の思いを明け渡していくということです。

私たちが「委ねる」ことの出来る神様は、誰よりもご自身が親としての切ない涙をご存知の方です。イエス様の十字架を歌った「父の涙」という曲で、我が子の最大の試験の時に、父なる神様も胸を痛め、涙したのだと語られているのを見る時に、他の誰にも分かってもらえないと心を塞ぐようなことがあっても、人間が経験し得るすべての不条理や悩み苦しみを先に負って下さった方が、私の心にも寄り添って下さり、全能の力で助けて下さるのだから……と、ここに救いがあり、慰めと平安を頂くことが出来るのです。

試験は神様の助けを求めて祈ることのレッスンののだと思うと、「代われない涙」を流すごとに、神様に近づいて歩いて行くことが出来るのかもしれない……と思います。

涙することを通して、また、主の愛に近づける恵みを、一人でも多くの方に受け取って欲しいと心から願っています。



暮らしの くすりばこ



《今月の処方箋》

◆弁当箱法のススメ◆

食育基本法や食育推進基本計画が制定されて10年以上経ち、「食育」を通して私たちの体を作る「食」が健康の基盤であるという認識が、広く定着してきたように思います。

この認識を実践に移すべく、食事バランスの管理にもってこいなのが「弁当箱法」です。子どもにも分かり易く、私自身、学校での食育に導入していました。一つのお弁当箱で完結でき、主食・主菜・副菜1:3:1:2と覚えやすく、「何をどれだけ食べたら良いのか」を具体的にカタチにできるのもポイントです。ぜひ、明日のお弁当から実践してみ

下さい

「弁当箱法」5つのルール

① 食べる人にとって、ぴったりサイズの弁当箱を選ぶ

※例えば、一食で600kcal摂りたい人は600mlの容量のものを選ぶ
(体格や運動量から、自分の栄養所要量を把握しておくが良いです)

② 弁当箱に主食・主菜・副菜1:3:1:2の割合(上から見た表面の面積比)につめる

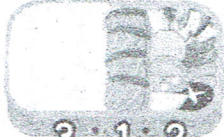
③ 同じ調理法(特に油を使った料理)は1品だけにする

④ 中身が動かないよう、つめ過ぎにならない程度にしつかりつめる

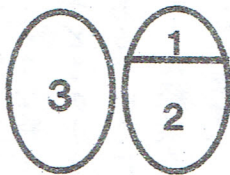
⑤ 彩り良く「おいしそう」につめる

からだ・心・くらし・環境に健康な1食

「3・1・2弁当箱法」



3:1:2
主菜 主菜 副菜
©NPO法人食生活推進フォーラム



*2段弁当箱でも同じです

7月のハレルヤキッズは

21日(土)です。遊びに来て下さい♪

路上生活者支援

山谷(やま)農場

イモ掘り、助っ人募集!

支援用のジャガイモ掘りの助っ人を募集します。ぜひ、ご協力ください!

日時: 7月21日(土) 8時~11時半

※荒天時は28日に順延

場所: 上田市前山412-2

(東前山多目的ホール南側の畑)

〈連絡先〉 藤田 寛

TEL 090-1436-6334

FAX 042-786-2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、また

は、南牧村社協へ。〒384-1302南

牧村大字海ノ口966-15南牧村社会

福祉協議会気付 山谷農場

*着払い送付は遠慮ください。

*土曜日の配達指定をお願いします。

山谷農場事務局(藤田)小海町芦谷ヒルサ

イドコーポ102号室 毎週土曜

カンパ: 振替00240-453796

